

# 一般質問

5名の議員から一般質問がありました。質問・答弁を抜粋・要約して掲載しました。

## 公共施設に冷房整備を

### 現時点では設置の考えはない

【藤山大議員】

例年猛暑が厳しく体温調節が難しい、幼児・児童・高齢者の熱中症等による事故が、新聞やテレビ等で連日報道されている。

温暖化がさらに進む状況が予測されることから、北海道だから夏場は涼しいという考え方を変え、役場・各施設に冷房を設置し、町民が快適に利用し、職員が円滑に業務を遂行できるようにすべきではないか。併せて、「各施設のクーラーの設置状況」「各施設利用者が、暑さにより体調不良となった事例」について伺う。



藤山 大議員

【鳴海清春町長】

クーラーは現在、子育て支援センター、診療所や火葬場等7か所に設置している。

施設利用者の体調不良の事例は、今年度は報告を受けていないが、昨年7月に福中バスケットボール部・陸上部の部活動により、屋内2名・屋外2名の生徒の救急搬送があったが、その日のうちに全員帰宅し、大事には至らなかった。

公共施設の維持管理については、「福島町公共施設等総合管理計画」に基づき、計画的に実施しているが、冷房設備の計画は無い。近年の気温上昇を考えた場合、認識の変化はあるが、設置には相当の費用を要することから、費用対効果を見極めながら判断したいと考えており、現時点では設置する考えはない。

## 岩部線の安全管理と岩部地区の活用を

### 要望を継続、活用計画づくりを進める

【小鹿昭義議員】

町は「福島町まちづくり工房」に委託し、岩部クルーズ事業を展開しているが、道道岩部線については、大雨になると道路が通行止めになり、雨天以外でもがけ崩れや法面の崩落が懸念される。

町としては、岩部地区を活用した移住・定住事業を地域住民の理解を得ながら進めると思うが、地域住民はもちろん、クルーズ利用者のためにも道道岩部線の道に対する要望提案をどの様に行っていくのか、また、今後の観光資源としての岩部地区の活用の在り方についても併せて伺う。



小鹿 昭義 議員

【鳴海清春町長】

道道岩部線については、毎年、事業主体である函館建設管理部に、落雪防止対策・道路護岸整備・越波対策等の事業予算の確保と事業推進を要請しており、渡島総合開発期成会においても懸案事項として要請活動を実施している。

整備に関しては、計画的に進められていると思うが、整備箇所も多く多額の予算を伴うことから時間を要しており、今後も安全確保に向けて要請活動を継続していく。岩部クルーズについては、6月から本格運航を開始し道内外から多数の利用者が来訪している。当事業を契機として地域資源を有効活用し、岩部の良さを知ってもらえるような総合的な計画を関係機関等と連携を図りながら策定準備を進めたい。

## 児童虐待について

### 関係機関と連携を密に対応

【川村明雄議員】

全国の児童虐待件数は毎年増加し、厚生労働省発表の平成30年度数値は15万9850件で、児童虐待防止法が制定してからも増加の一途にあるという異常な状況である。

加えて児童生徒の自殺者の増加、不登校の増加などは何らかの関連が思いめぐる。平成30年度の渡島・松山地区の虐待認定数は過去最高の626件と報道があった。

過去5年間の当町の虐待、いじめ、不登校の状況、また、虐待が発生した場合の対応マニュアルについて伺う。



川村 明雄 議員

【鳴海青春町長】

過去5年間の児童虐待は、平成30年度に1件あった旨函館児童相談所より通告を受けており、福島町子育てネットワーク会議で関係機関が情報共有、連携を図りケース毎に対応している。

【前田勝広教育長】

小中学校でのいじめ把握は、児童生徒へのアンケートを実施し、各学校では、このアンケートに基づき、本人や保護者に対する聞き取り調査をしているが、現在、この取り組みにより「いじめ」と認定される事案はない。

当町の不登校の扱いについては、平成29年に制定した取扱要項に「明確な欠席理由以外の欠席が月合計で3日を超えた場合」と規定しており、町内の小学校では該当児童はいないが、中学校では、現在も3名となっている。

## 町長の2期目の具体的な政策内容は

### 総合的種苗施設再構築を進めたい

【木村隆議員】

所信表明の次の点を伺う。

- ① 「総合的な種苗生産施設の整備」：各施設の生産状況建設年度、新設・改修の別
- ② 「陸上養殖アワビ・食べる昆布の企業化」：生産状況公企業・私企業の別
- ③ 「危険木などの除去に関して新たな制度構築」：概要
- ④ 「AI活用の高齢者の見守りの充実」：民間見守りサービスとの差別化内容
- ⑤ 「新道の駅」：方向性取りまとめ時期
- ⑥ 「イカ漁不漁に伴うスルメ加工」：状況打破の活動



木村 隆 議員

【鳴海青春町長】

- ① コンブ施設（種子系3万3千m/S48）、アワビ施設（35mm貝4万個体/S54）、ウニ施設（15mm種苗200万粒/S54）、新設・改修は協議中。
- ② アワビは当面、町が事業主体で進め、企業化を模索。コンブについては、既にヤマザキの子会社として、「北海シーウイード」が設立されており、取り組みがすぐに行われている。
- ③ 所有者実施の補助と緊急避難的に除去する場合の2つの方策を構築したい。
- ④ 差別化ではなく、民間と連携を図りながら当町に合った仕組みを構築したい。
- ⑤ 後期実施計画の中で基本的な構想を策定したい。
- ⑥ 松前町・福島町スルメ加工業連絡協議会等の意向を踏まえ、関係する市町村や機関と連携し要請活動していきたい。